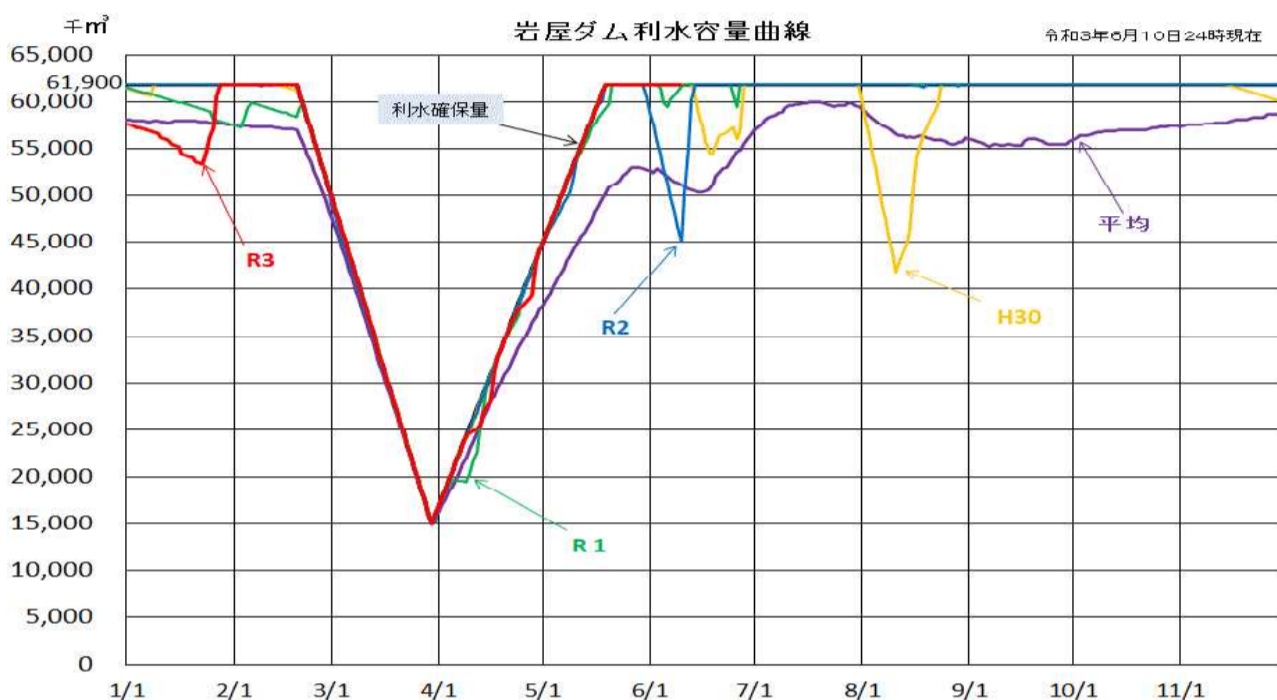




岩屋ダム利水貯水量 6,190万トン（貯水率100%）
農業用水取水量 851万トン（取水率20.3%）（ともに6月10日現在）

田植えもほぼ終わられて、利水者の皆様には忙しい農作業も一段落のことと思います。田植えの終わった田んぼでは、稲がすくすくと成長し一面に青田が広がり、心地よい風景が感じられる季節となりました。

さて、東海地方では、平年より21日早い5月16日頃に梅雨入りしましたが、5月の後半から6月に入って梅雨の中休みの状態が続き、貯水率の低下も心配されましたが、現在の岩屋ダムの利水貯水量は計画通り6,190万トンと満水状態になっており、ひとまず安心しているところです。これから本格的なかんがい期が始まり水需要が増してきますので、引き続き今後の気象、貯水状況には十分注視していく必要があると考えております。



一方、農業用水取水量は、6月10日現在、851万トン（取水率20.3%）で、過去3か年の平均取水量より69万トン程減少しており、これは、田植え時期にまとまった降雨があったものと考えます。

右岸用水における農業用水の年間総取水量には定められた数値（4,190万トン）がありますので、引き続き、河川、ため池等の地区内水源を最優先に利用していただき、降雨時には給水栓を閉めていただき、右岸用水の有効活用にご協力を頂きますようお願いいたします。

◇定期監査を実施

5月18日（火）、木村総括監事、小栗、永田両監事による定期（第1回中間）監査を連合事務所にて執行しました。

今年度の「監査計画の樹立について」は原案のとおりご承認頂きました。また、昨年の12月から今年4月までの新旧年度の出納検査も行われ、諸帳簿の整理状況及び証拠書類の照合等について、終始熱心に審査され、特に指摘事項もなく承認が得られました。



◇神測沈砂池の堆砂除去作業を実施！

水資源機構美濃加茂管理所により、5月21日に神測沈砂池に溜まった土砂の除去作業が行われました。

右岸施設には沈砂池がなく、幹線導水路等に土砂が恒久的に堆積して困っていましたが、神測地点に沈砂池を設けたことで、片側通水による計画的な除去作業が出来るようになりした。これからも良質かつ安定的な用水供給が行えるよう計画的に実施して頂きます。



◇『中干し節水』実施にご協力を！

右岸用水の有効利用と過剰分けつを抑制し、根を活性化させて倒伏しにくい丈夫な稲を作るためにも『中干し節水』の実施にご理解とご協力をお願いします。

早植え田	中干し	6/20~6/24（5日間）	美濃加茂市・坂祝町・富加町・七宗町・八百津町・関市
		6/25~6/29（5日間）	川辺町
普通植え田	早期中干し	6/12~6/16（5日間）	美濃加茂市
		6/8~6/12（5日間）	坂祝町・富加町・七宗町・八百津町・関市
		6/25~6/29（5日間）	川辺町